記者発表資料

令和８年６月４日
北上川下流河川事務所

「流量観測講習会」を実施します
～洪水時の正確な流量測定への備え～

国土交通省では、水資源の管理や河川環境の保全、洪水や渇水の予測や対策など、河川行政における様々な政策立案の基礎資料とし、流域に降った雨量や河川の水位・流量を長年継続して測定調査しております。
特に台風など大雨による洪水時に実施する『流量観測』は、洪水の発生状況やその規模を把握しデータを蓄積し、今後の洪水の発生規模を予測することで、河川改修計画の検討、堤防やダムなどの防災インフラの設計等に役立てるものです。

北上川下流河川事務所では、毎年、流量観測を実施しておりますが、今後の出水期に備え、迅速かつ確実な観測を実施するため、現地で講習会を実施いたします。当日は最新の流量観測方法もご紹介する予定です。

１．講習日時：令和８年６月９日（火）１０：００～１２：００
※当日の気象等の状況により中止となる場合があります。

２．講習会場：北上川河川敷（登米市東和町米谷元町　県道 398 号米谷大橋）
※詳細は別添地図をご覧ください。

３．講習内容：

１）　１０：００　流量観測の目的や方法（説明）
①目的及び種類　②方法の概説　③注意事項
２）　１０：３０　流量観測の実務（演習）
①浮子投入練習　②各見通し杭での時間計測練習
③UAV（ドローン）撮影による画像解析手法の説明
３）　１１：５０　質疑応答・総評
４）　１２：００　解散

◆取材について
取材受付は、１０時から１２時の間に随時お受けいたします。

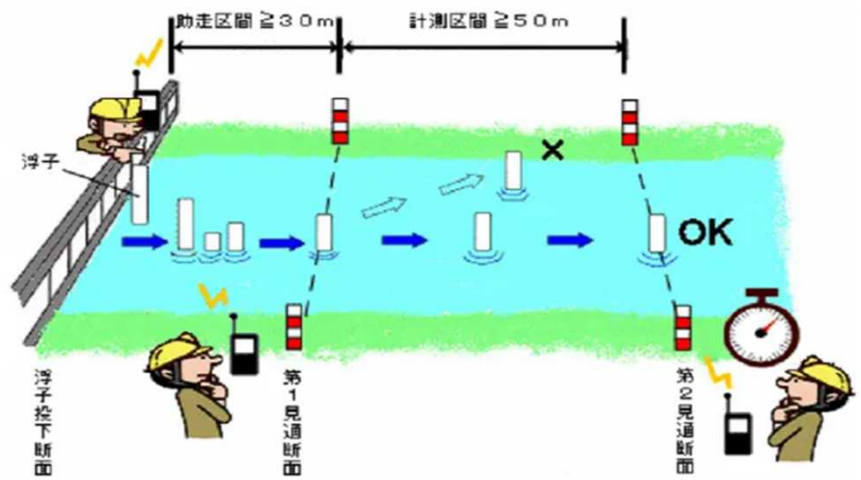
記者発表先　：　石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
〒986-0861　石巻市蛇田字新下沼８０　TEL 0225-94-9854（直通）
技術副所長　土岐（とき）　範彦（のりひこ）（ 内線２０５ ）
防災情報課　建設専門官　及川（おいかわ）　加奈（かな）（ 内線５０５ ）

流量観測とは

国土交通省
北上川下流河川事務所

洪水時の流量観測（従来の高水流量観測）



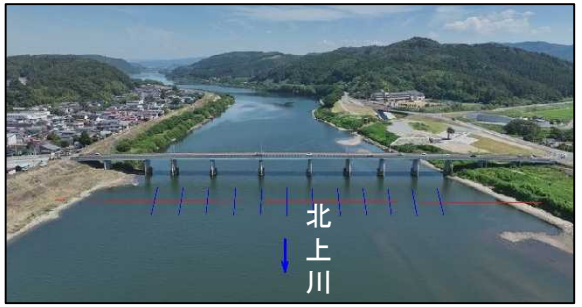
洪水時の流量を観測するために行われるもので、上の図のとおり橋の上から浮きとなる物体（浮子（ふし）と呼びます）を投下し、これを一定距離の区間を通過する時間を計ることにより、流速を求め、川の断面積と掛け流量を求めます。

洪水時の天気は、大雨や暴風となっていることから、周辺道路や土地の浸水、作業員の安全優先などにより、観測が出来ない場合もあることから今後の人口減少・高齢化に対応も勘案し観測の無人化・自動化が求められています。

流量観測の最新技術『画像解析流量観測』

UAV（ドローン）





最新の流量観測手法の一つとしてUAV（ドローン）を活用した流量観測をご紹介予定です。

UAV（ドローン）によって上空から水面を動画撮影し、波紋や浮遊物が移動する様子を画像解析することで、流速を算出する技術です。

「非接触型」の流量観測に分類され、人の立ち入りが困難な場所でも、上空から川幅全域を一度に撮影できるため、安全で効率のよい流量観測が実施可能です。

（参考）

国土交通省では、水資源の管理や河川環境の保全、洪水や渇水の予測や対策など、河川行政における様々な政策立案の基礎資料とし、流域に降った雨量や河川の水位・流量を長年継続して測定調査しております。

特に台風など大雨の洪水時に実施する『流量観測』は、洪水の発生状況やその規模を把握しデータを蓄積し、今後の洪水の発生頻度や規模を予測することで、河川改修計画の検討、堤防やダムなどの防災インフラの設計や改修に役立てることができ、確実で正確な観測が必要です。

流量観測講習会の会場

北上川河川敷（登米市東和町米谷元町　県道398号米谷大橋付近）

三陸沿岸道路
最寄り：登米東和IC　●講習会会場







出典：地理院地図に説明会場所等を追記して掲載